

石狩市出身アスリートに聞く

ジョッキー 阿岸潤一郎さん

ホッカイドウ競馬で大活躍

「人馬一体で走る迫力を生で感じてください！」

浜益で生まれ育った阿岸さんにとって子どもの頃の思い出は、自宅の目の前にあった川下海水浴場の砂浜を走り回ったこと。

「あれは足腰の鍛錬になったと思います。今の自分を形づくる上でとても重要でした」

運動能力には自信があり、野球選手を目指していたことも。ところが中学1年生の時、競馬場で競走馬の力強い走りに心底圧倒されます。「テレビとは比べものにならない迫力で、駆け抜ける音も本当にすごかったです」

これを機に、ジョッキーになることを決意。しかし、当時は馬に触れたことがなかったため、多くの若者が中学校卒業と同時に騎手養成所へ進む中、馬産地にあつて馬の飼養管理が学べる北海道静内農業高等学校へ進学。2年間、馬を知ることに徹してからジョッキーを目指します。

ジョッキーになるには、日本中央競馬会（JRA）と地方競馬の2つの道がありました。阿岸さんが選択したのは地方競馬の一つ、ホッカイドウ競馬（門別競馬場）で、「完全に一択だった」と振り返ります。

「僕は門別競馬場みたいな砂の競馬が好き。アメリカなどでは芝より砂の方が大きなレースもありますから。でも何より地元でジョッキーをやりたいという強い思いがありました」

ホッカイドウ競馬のレースは4月～11月にかけて。そのレースが終わると、競馬場では1歳馬の調教が始まります。ここでは厩務員や調教師と一緒にジョッキーも競走馬を育成します。「ホッカイドウ競馬のジョッキーたちは馬を熟知している」と評されるゆえんです。

厩舎一同の努力と思いを抱き、勝利をつかもうと疾走するジョッキーたち。その中でホッカイドウ競馬の期待の星として、メキメキと頭角を現す阿岸さんの活躍に、どうぞご注目ください！

プロフィール

2003年生まれ、22歳。石狩市立浜益小・中学校を卒業後、北海道静内農業高等学校へ進学。2年間に在籍後、騎手を目指して中退。2021年、第104期騎手候補生として地方競馬教養センターに入所。2023年卒業し騎手免許を取得。同年、4月19日門別競馬場で騎手デビュー。ロザシアニンで初騎乗初勝利を収める。2025年9月1日現在1,419戦85勝。



サイン入り！

阿岸騎手の
ホッカイドウ競馬オリジナル
騎手トレーディングカード

抽選で5人／
プレゼント！



秘書広報課宛てに右の申込フォームから
10（金）17時15分までにご応募ください。

▲申込フォーム

※応募多数時は市民優先の抽選。結果は発送をもって代えさせていただきます

浜益小劇場 第二十三回定期公演

十一月三日(祝)

一三・三〇開場 一四・〇〇開演

いつか輝く星になれ

幌の楽団物語

作・演出 吉弘文人

浜益コミュニティセンター「きらり」

前売り 大人 五〇〇円 子供 三〇〇円
当日 大人 六〇〇円 子供 四〇〇円
子供は高校生までです

後援 石狩市・
石狩市教育委員会
石狩市文化協会

問合せ先
浜益小劇場劇団員
(石狩市浜益支所長)
宇野さん
☎090・6878・1156

1999(平成11)年、旧浜益村で20~30代の6人が旗揚げした劇団「浜益小劇場」。11/3(月・祝)には、第23回定期公演を浜益コミセン「きらり」で開催します。

タイトルは「いつか輝く星になれ~幌の楽団物語~」。ニシン漁で盛んだった時代、浜益の中でもとりわけ栄えた幌地区はかつて音楽の街だった——。脚本・監督の吉弘文人よしひろ ふみとさんが実存した楽団の元団員から話を聞き、書き下ろした完全オリジナル作品です。

浜益の歴史や文化、産業、そこに暮らす人々を
一つの物語として紡いできた「浜益小劇場」をご紹介します。